

令和元年 5月15日

◎桑名議長 商工農林水産委員会の皆さん、おはようございます。

きょうは本年度最初の委員会ということでございますので、議長の私のほうから招集をさせていただいたところでございます。

令和元年ということで、新しい時代がやってまいりました。また、県においても第3期の産業振興計画、日本一の健康長寿県構想の最終年度、締めくくりの年となっているところでございます。

また、当委員会においては、それに合わせて企業誘致、またI o TやA Iなどを活用した取り組み、新たな管理型処分場の整備、第一次産業の強化という問題もあるところでございます。

この委員会というものは政策に魂を入れる場と私は思っているところでございますが、日ごろ皆さん方が地元で聞いた声、そしてまたそういったものをしっかり政策提言をしていただくとともにチェック機能も働かせていただきまして、県民の生活の浮揚になっていただければと願うところでございます。

どうか活発な議論がされますことを御期待を申し上げまして、議長としての挨拶とかえさせていただきます。

ありがとうございました。よろしく願いいたします。

(担当書記挨拶)

◎書記 本日は、初めての委員会でありますので、委員長が互選されるまでの間、委員会条例第7条第2項の規定によりまして、年長であります吉良委員にその職務をお願いいたします。

◎吉良年長委員 それでは年長である私が暫時の間、議事を進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。ただいまから委員会を開会いたします。

(午前10時2分開会)

直ちに委員長の互選を行います。互選の方法はいかがいたしましょうか。

(「投票」と言う者あり)

◎吉良年長委員 「投票にせよ」という発言がありますので、これより委員長の互選を投票によって行います。

お諮りいたします。

投票の方法は、単記無記名であります。

所定の投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、投票願います。

その他の選挙手続きは、全て正副議長選挙の方法によりたいと存じますが、御異議ございませんか。

(異議なし)

◎吉良年長委員 御異議なしと認めます。よってさよう決定いたしました。

それでは、立会人に野町雅樹君、橋本敏男君を指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

(異議なし)

◎吉良年長委員 御異議なしと認めます。

よって、立会人に野町雅樹君、橋本敏男君を指名いたします。

御両人は御了承願います。

それでは、書記に投票用紙を配布させます。

(投票用紙配布)

◎吉良年長委員 投票用紙の配布漏れはありますか。

(なし)

◎吉良年長委員 配布漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

(投票箱点検)

◎吉良年長委員 異常なしと認めます。

点呼に応じて順次投票を願います。

野町雅樹君、横山文人君、西内隆純君、加藤漠君、弘田兼一君、上治堂司君、橋本敏男君、岡田芳秀君、吉良富彦

投票漏れはありますか。

(なし)

◎吉良年長委員 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

開票を行います。

野町雅樹君、橋本敏男君立会いを願います。

(開票)

◎吉良年長委員 選挙の結果を報告いたします。

投票総数9票、有効投票9票、無効投票0票、有効投票数中、西内隆純君7票、吉良富彦2票

以上のおりであります。

この選挙の法定得票数は、3票であります。従いまして、西内隆純君が委員長に当選されました。

ただいま、委員長に当選されました西内隆純君に本席から告知します。

ここで、委員長の就任の御挨拶があります。

◎西内(隆)委員長 ただいま委員長に選任をいただきました西内隆純でございます。

先ほど桑名議長からもありましたけども非常に変化の早いこの時代の中において、本県の抱える少子化の問題、社会減をどう食いとめていくかということにおいて、やはり委員会がしっかり足を踏ん張っていかなくてはならないだろうと思います。

また、皆様御存じのとおり、米中経済政争が始まりました。これは長期化します。いずれは国内の、本県の産業にも大きな大きな影を落とすことになると思います。しっかりと皆さんと闊達な議論を重ねて、県民の期待と信頼に応えていける議事運営に努めてまいりたいと思います。御協力のほどよろしくお願いいたします。

◎吉良年長委員 以上で、私の役目である委員長の互選が終わりました。

御協力ありがとうございました。

◎西内（隆）委員長 お諮りいたします。本日の委員会の以後の日程につきましては、お手元にお配りしてある日程案によりたいと思いますが、御異議ありませんか。

（異議なし）

◎西内（隆）委員長 御異議なしと認めます。

それでは、これより副委員長の互選を行います。互選の方法はいかがいたしましょうか。

（「指名推選で」と言う者あり）

◎西内（隆）委員長 「指名推選にせよ」という発言がありましたので、副委員長の互選の方法につきましては、指名推選によりたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（異議なし）

◎西内（隆）委員長 御異議なしと認めます。よって、さよう決定いたしました。

お諮りいたします。委員長である私が指名することにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（異議なし）

◎西内（隆）委員長 御異議なしと認めます。よって、さよう決定いたしました。

副委員長に横山文人君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名をいたしました横山文人君を副委員長の当選人と定めることに御異議ありませんか。

（異議なし）

◎西内（隆）委員長 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました横山文人君が副委員長に当選されました。

ただいま副委員長に当選されました横山文人君に本席から告知をいたします。

ここで、副委員長の就任の御挨拶があります。

◎横山副委員長 副委員長に選任いただきました横山文人でございます。

先ほど委員長がおっしゃられたようなさまざまな課題、そして本県の第一次産業の活性化はもとより、商工業の発展、そして中山間地域の活性化に寄与する政策提言を、闊達と

なるような委員会となるように微力ながら委員長を補佐し、そして各委員の御指導もいただきながら、本年副委員長を務めさせていただきたい、そのように思っておりますので、どうか御指導御鞭撻、御協力のほどよろしくお願いを申し上げまして、選任の御挨拶にかえさせていただきます。よろしくお願いたします。

◎西内（隆）委員長 以上で、副委員長の互選を終わりました。続いて、委員席を決定いたしたいと存じますが、いかがいたしましょうか。

（「委員長一任」と言う者あり）

◎西内（隆）委員長 それでは、私のほうで決定することにいたします。

（書記が委員長から委員席の封筒を受け取り名札を置く）

◎西内（隆）委員長 これで、委員席は決定いたしました。各委員は、名札の席にお移りください。

次に、閉会中の継続審査の件を議題といたします。

お諮りいたします。

当委員会は、閉会中も継続して審査並びに調査をしたいので、お手元にお配りしてある（案）のとおり申し出ること、御異議ありませんか。

（異議なし）

◎西内（隆）委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定しました。

この際、お諮りいたします。

「今後の委員会活動日程の件」を日程に追加し、議題といたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（異議なし）

◎西内（隆）委員長 御異議なしと認めます。

それでは、今後の委員会活動日程の件を議題といたします。

書記に資料の配付と説明をさせます。

（委員会活動日程案配付）

◎書記 それでは、今後の委員会活動日程につきまして、御説明いたします。

本年度も例年どおり6月議会が始まるまでに、本庁各課の業務概要と出先機関等の調査を行うよう計画しております。

最初に、5月21日火曜日から23日木曜日までの3日間は、本庁の業務概要の聴取を行います。

次に、県内出先機関等の業務概要調査ですが、お配りしてある資料の2枚目、令和元年度商工農林水産委員会出先機関等調査日程案をご覧ください。

2月議会の委員会において各委員の御意見を伺い取りまとめたものです。

5月27日から6月12日まで、延べ9日間で行うこととしており、6月11日、12日は幡多方面へ1泊2日の調査を予定しております。

移動につきましては、基本的に中型バスを利用し、道が狭くバスが入っていけない場所はジャンボタクシーを借り上げることとしております。

県の出先機関及び関係機関以外に、高知県広域食肉センター、株式会社くぼファーム、金星製紙株式会社、宿毛商銀信用組合、株式会社高知道水を視察先としております。

なお、例年行っている県工業会関係の視察については、時期を変え9月頃に意見交換という形で実施したい旨、昨年度、県工業会から提案を受けており、出先機関等調査とは別に行う予定としております。

以上で、委員会活動日程案の説明を終わらせていただきます。

◎西内（隆）委員長 今後の委員会活動日程案について、御協議願います。御意見をどうぞ。

（なし）

◎西内（隆）委員長 それでは、今後の委員会活動日程については、お手元にお配りしたある日程案によりたいと思いますが、これに、御異議ございませんか。

（異議なし）

◎西内（隆）委員長 御異議なしと認めます。よって、さよう決定いたしました。

なお、細部については正・副委員長に一任を願います。

以上をもって、本日の日程は全て終了いたしました。

これで、本日の委員会を閉会いたします。

（午前10時17分閉会）